

一般質問通告書

令和8年第1回定例会

通告順	通告者 (質問方式)	発言事項	発言の趣旨	答 弁 を 求める者
1	塚越 節 (一問一答)	1 就労継続支援 A 型・B 型事業所における優先調達の下妻市の現状について	(1) 障害者優先調達推進法の概要説明を求める。 (2) 優先調達とは何か。語意の説明を求める。 (3) 下妻市における就労継続支援 A 型・B 型事業所のそれぞれの事業所数は。 (4) 下妻市における優先調達の令和 5 年実績と、県内 44 市町村中の順位は。また、本市としてどのような発注内容であったのか。 (5) (4) の実績をどのように受け止めておられるか。 (6) 従事する人の平均工賃は。 (7) 他自治体の優先調達の発注事例としてどのようなものが挙げられるか。 (8) 発注に当たっての下妻市の関係規定は整っているのか。 (9) 発注側の市と受注側の事業所の綿密な連携が不可欠と考えるがいかがか。	市 長 関係部長
		2 障害者カフェの可能性について	(1) 障害者カフェとは何か。 (2) 過去に本市において障害者カフェが運営された実績と、近隣自治体の現状は。 (3) (仮称) 地域交流センターにおいて、障害者カフェ開設の可能性はあるか。	市 長 関係部長
2	太田 富雄 (一括)	1 子宮頸がんについて	子宮頸がんは、ヒトパピローマウイルス、いわゆる HPV の感染が主な原因であり、ワクチン接種と検診による早期発見が非常に重要です。本市では、対象者に無料	市 長 関係部長

一 般 質 問 通 告 書

令和 8 年第 1 回定例会

通告順	通告者 (質問方式)	発言事項	発言の趣旨	答 弁 を 求める者
			で定期接種を行っています。(対象者は小学校 6 年生から高校 1 年生相当の年齢の女子) (1) 対象者のワクチン接種率を伺います。 (2) 対象者以外の方が接種を希望するとき、助成の考えがあるか伺います。 (3) ワクチン接種可能な、市内及び近隣の医療機関を伺います。	
		2 旧千代川庁舎跡地について	旧千代川庁舎の解体工事が終わろうとしています。 (1) 旧千代川庁舎跡地の活用とその周辺施設の利用状況を伺います。	
3	原部 司 (一括)	1 本市における外国人との共生社会の実現に向けた現状と課題について	(1) 近年、本市においても外国人住民が増加していると思われるが、市民への安全・安心社会への取組について (2) 外国人住民からの苦情・相談窓口の体制、警察や出入国在留管理庁との連携について (3) 外国人の病気や生活困窮時の対応、生活保護受給の現状と財政負担への見解について (4) 外国人の児童・生徒への小・中学校での支援体制について	市 長 教 育 長 関係部長

一 般 質 問 通 告 書

令和 8 年第 1 回定例会

通告順	通告者 (質問方式)	発言事項	発言の趣旨	答 弁 を 求める者
4	岡田 正美 (一括)	1 市民文化会館に代わる市民活動を支える新たな複合施設について	市民文化会館の修理存続や新たな施設整備について、私は令和 6 年から一般質問でも二回取り上げてきましたが、修理では投資効果が見えないなどの課題もあり、いまだに具体案も示されない状況にあります。菊池市長の政治活動紙を見ると、文化活動・市民活動を支える新たな複合的な施設を整備するとして、次の一歩と位置づけて述べていますので、市長は政治家としてこの件についての説明責任があります。 また、下妻公民館についても、現在その機能は劣っており、正規職員も配置されずで生涯学習拠点施設としては疑問があります。この二つの施設については庁舎周辺エリアビジョンとまちづくりとの関連もありますので、全体的な説明、そして、財源などについても示した上で施設整備が展望できるような説明を求めます。	市 長
		2 人口増加対策と定住促進住宅について	公営住宅は住宅が不足している時代の施策であり、現在住宅は過剰になっているため施策の転換期であると考えます。一方で若い世代が一軒家を求め、良い環境で子育てをしたいとのニーズもあります。そこで、他の自治体施策に定住促進住宅に長く入居したら、その後は差し上げるというものがあります。良い物はまねをしてもよいと考え、住宅政策に工夫や下妻らしさを出して若い世代の人口増加を図る考えはないか伺います。	市 長 関係部長
5	安田 歩 (一問一答)	1 子供の成長を支える教育・生活環境の充実と、子育て世帯への総合的支援の強化について	(1) 不登校児童生徒の保護者との意見交換の機会の確保について、市の考えを伺う。 (2) 子供の将来的な自立支援の観点から、小学校 1 年生段階での発達検査の実	市 長 教 育 長 関係部長

一 般 質 問 通 告 書

令和 8 年第 1 回定例会

通告順	通告者 (質問方式)	発言事項	発言の趣旨	答 弁 を 求める者
			施及び把握について、市の考えを伺う。 (3) 図書館サービスの向上として、予約機能の拡充について、市の考えを伺う。 (4) 放課後児童クラブの運営の充実について、市の考えを伺う。	
		2 地方創生における地域課題の解決やプレイヤー、イノベーター創出について	(1) 市民主体の地域活動を支え、課題解決や新たな取組を生み出す体制の強化に向け、地域コーディネーターの配置や体制整備について、市の考えを伺う。 (2) 市民の地域課題の解決に向けた取組への経済的支援として助成金制度の創設や市民への情報提供・相談支援の充実について、市の考えを伺う。	市 長 関係部長
		3 下妻市ボランティア監視員制度について	(1) 下妻市ボランティア監視員制度について、地域に根差した環境保全活動として継続・発展させるため、制度を活用した環境意識の高い市民の育成や啓発活動の推進、今後の活性化及び周知の在り方について、市の考えを伺う。	市 長 関係部長
		4 地域における防災力の向上と、女性の視点を取り入れた避難所運営体制の整備について	(1) 女性防災士の育成や女性の視点を取り入れた避難所運営体制の整備について、本市の考えを伺う。 (2) 自助・共助の原則に基づく、市民の防災意識の向上に向けた啓発の取組について、本市の考えを伺う。	市 長 関係部長

一 般 質 問 通 告 書

令和 8 年第 1 回定例会

通告順	通告者 (質問方式)	発言事項	発言の趣旨	答 弁 を 求める者
6	平井 誠 (一括)	1 物価高騰対策の さらなる拡大を 求めて	(1) 下妻市独自の対策はできないか。	市 長 関係部長
		2 子育て支援策の 拡充について	(1) 出産祝金の拡充はできないか。 (2) 入学祝金の新規事業を求めます。 (3) 教室まで登校できない児童・生徒への 給食費はどうなるのか。	市 長 教 育 長 関係部長
7	浅野 通生 (一括)	1 中小企業者等 に対する支援制度 について	近年の円安進行、物価高などにより、市 内事業者の経営環境は依然として厳しい 状況が続く。地域経済を下支えする重要な 支援策や制度が十分に活用されているの か。また、必要とする事業者情報が届い ているのか。本市の中小企業・小規模事 業者支援策についてどのような施策があ るか伺います。 (1) 中小企業者等に対しての施策につ いて 金融支援を軸とした支援策はどのよ うなものがあるのか。また、これまで の支援実績について伺います。 (2) 支援体制について 事業者への支援、市の役割と連携状況 について伺います。 (3) 周知方法について 中小企業・小規模事業者に対し、どの ような周知で対応しているか伺いま す。	市 長 関係部長

一般質問通告書

令和8年第1回定例会

通告順	通告者 (質問方式)	発言事項	発言の趣旨	答 弁 を 求める者
			(4) 今後の制度拡充について 物価高騰や人件費上昇が続く中、今後、支援拡充の考えはあるか伺います。	
8	斯波 元気 (一問一答)	1 下妻市立学校管理規則の改正を求める。	(1) 本市教育委員会にも文書で要望が行っているとのことだが間違いはないか。 (2) 検討の経緯は。また、同規則第3条第1項第4号で、学年始休業日を4月7日までとする改正の考えはあるか。 (3) 問題点があるならばどこか。	市 長 教 育 長 関係部長
9	鈴木 牧 (一問一答)	1 市立図書館の現状と課題について	(1) 図書貸出数の推移について (2) 図書館以外での図書貸出しについて (3) 市民の居場所としての図書館の役割について (4) 図書館託児サービスについて (5) 図書館ボランティアの現状について (6) 2階会議室・集会室・映像ホールの利用促進について (7) 今後の図書館運営の充実について	市 長 教 育 長 関係部長
		2 市内小・中学校の日本語教育の現状と課題について	(1) 市内小・中学校の外国籍児童生徒数について (2) 日本語指導を必要とする児童生徒数について	市 長 教 育 長 関係部長

一般質問通告書

令和8年第1回定例会

通告順	通告者 (質問方式)	発言事項	発言の趣旨	答 弁 を 求める者
			(3) 国際教室の現状と問題点について (4) 本市における外国籍児童生徒及びその保護者への日本語教育支援の今後について	
10	宇梶 浩太 (一問一答)	1 本市と関東鉄道 常総線の関わり について	(1) 常総線活性化支援協議会の内容について伺います。構成自治体、開催時期、どのような内容が話し合われるか。 (2) 関東鉄道側より常総北線の廃止について、申入れや話合いが行われているか。 (3) 仮に水海道～下館区間、もしくは下妻～下館区間が経営上の都合で廃線の申入れがあった場合、市はどう対応するのか。 (4) 常総北線設備整備支援補助金について、いつからの補助金で、今までの推移と総額どのくらい出資しているか。 (5) 今までどのような事業に使われたか。 (6) 市内における第4種踏切（警報機も遮断機もない踏切）の対応状況について伺います。 (7) これから見込まれる補助金を使った事業について伺います。 (8) 常総線のさらなる利用促進について、市としてどう向き合って、どのように取り組んでいくべきかお聞かせください。	市長 関係部長

一般質問通告書

令和8年第1回定例会

通告順	通告者 (質問方式)	発言事項	発言の趣旨	答 弁 を 求める者
11	木村 穂摘 (一括)	1 ビアスパークし もつま(総合交流 ターミナル施設 等)の現状と将来 の在り方につい て	(1) 開業から四半世紀が経過いたしました。これまでの慢性的な赤字構造の推移と多額の指定管理料を公費で補填してきた現実を、市としてどのように総括されているか伺います。 (2) 開業当時と現在では、レジャーや温浴施設に対する市場ニーズは大きく変容しております。また、施設の老朽化も深刻な段階に達しております。こうした社会情勢の変化と施設の現状を振り返り、市はどのような課題があると認識されているのか伺います。 (3) 財政負担の増大や施設更新の時期を鑑みれば、現行の運営維持は転換期にあります。過去のイメージに固執することなく、指定管理期間の満了を見据え、民間の知恵の活用や施設の在り方の抜本的見直しなど、時代のニーズに即した多角的な方向性を検討すべき時期ではないでしょうか。市の見解を伺います。	市 長 関係部長
		2 公共交通政策の 現状と今後につ いて	(1) 本市は、シモンちゃんバス、筑西・下妻広域連携バス（ペアリン号）、下妻・つくば連携バス、そして地域連携公共ライドシェアと、多様な公共交通施策を展開されています。これら各施策の直近の利用者数と、市が負担している費用の推移をどのように分析されているか。また、ライドシェア事業の導入による具体的な効果について伺います。 (2) ルートの見直しやダイヤの最適化など、利用者の利便性を向上させるため	市 長 関係部長

一 般 質 問 通 告 書

令和 8 年第 1 回定例会

通告順	通告者 (質問方式)	発言事項	発言の趣旨	答 弁 を 求める者
			の具体的な取組は検討されているか。 また、収益改善に向けた利用者を増やすための工夫について、市の見解を伺います。 (3) 令和 8 年度より、企画課から都市整備課へ当該事務が移管されます。これによって、どのような相乗効果を期待されているのか。また、都市計画と公共交通を融合させることで、市民の生活環境はどのように向上していくのか伺います。	
12	野村 貴博 (一括)	1 今後の市政運営 における公共施設 跡地の利活用 方針について	(1) 下妻市民文化会館解体後の文化施設整備の方向性について ・具体的な内容と時期について (2) 千代川地区における公共施設跡地の利活用について ・旧千代川庁舎跡地の具体的な展望について ・統廃合が進んだ場合での千代川中学校施設の利用について	市 長 教 育 長 関係部長